



常議員立候補のご挨拶

谷 水 浩 一

この度、PA会からご推薦を頂き、日本弁理士会役員定時選挙において常議員に立候補させて頂くことになりました谷水浩一です。日頃より大変お世話になっているPA会からご推薦を頂きましたこと、とても光栄に存じます。この場をお借りして会員の皆様に御礼申し上げます。立候補にあたりまして、簡単に自己紹介させていただきます。

1. 経歴

わたしは、大学院の修士課程を修了し、2001年に研究者を目指して日油株式会社に就職しました。入社後5年ほど研究に没頭していましたが、企業内の弁理士の方と出願の打ち合わせをするうちに、実験データに対する弁理士の発明の捉え方にとっても興味を持つようになり、弁理士を目指して勉強を始めました。

合格までの道のりは長いな、と思っていたころ、特許庁の任期付き審査官の募集を見つけました。弁理士を目指しつつ、審査実務を学べるのはとても有意義な経験だと思い、応募しました。そして、2008年から5年間、特許庁審査第3部環境化学にて、任期付き審査官として勤務しました。特許庁での審査官時代は、昼休みに同期の審査官と勉強会をしたり、サッカー部に所属し、サッカーを楽しんだり、とても充実した日々でした。

2013年には、特許庁の任期付き審査官を退官し、現在の弁理士法人雄渾の前身である雄渾特許事務所に入所しました。雄渾特許事務所は、特許庁のOBの方が作られた事務所で、明細書の書き方など弁理士の業務を学ばせていただきました。雄渾特許事務所の先代の先生方にはとても感謝しています。

その後、2018年に、先代の先生から特許事務所の所長を引継ぎ、特許業務法人雄渾を設立し、現在に至ります。

2. PA会での活動

PA会には、2019年（令和元年）に入会し、研修部会に所属しました。研修部会は、現在も続けてい

ます。今年度からは、PA会の幹事会に参加し、研修部会の幹事を務めています。研修部会に入って、PA会の先生方との交友関係が広まりました。

そのほか、アウトドア同好会の登山企画にも参加しています。今年度の立山の登山企画では、PA会の先生方と1泊2日のお時間を共に過ごすことにより、とても親睦を深めることができました。

PA会の活動に積極的に参加することにより、PA会の活動がとても楽しくなっています。

3. 日本弁理士会での活動

弁理士会の活動は、2014年に弁理士登録後、関東会茨城委員会に参加しました。茨城委員会は、現在も続けています。平成28年度～平成30年度は、副委員長も務めました。わたしは元々神奈川県の出身ですが、茨城県つくば市に住んで16年、すっかり茨城県人になりました。これからも茨城県の発展に弁理士として貢献できればと思っています。

関東会の活動としましては、研修対応委員会にも2年間所属しました。弁理士会の研修は、委員会の方の活動のおかげで実施できていることを実感しました。

その他、弁理士会の活動としましては、農林水産知財対応委員会を3年間、現在は、特許制度運用協議委員会に所属しています。

4. おわりに

私は、弁理士が一丸となり、日本弁理士会を、日本経済をリードするような団体に発展させたいと考えています。日本経済の停滞感を知的財産の力で払拭し、希望に溢れる日本の未来を作っていきましょ

う。最後になりますが、ご推薦いただいた先生方、PA会の先生方、常議員への立候補を支えてくださりありがとうございます。当選させていただきましたら、日本弁理士会のために尽力いたします。

（文書責任者：坂本智弘）